

〔問19〕 自閉症の子供に対しては、どのように対処していけばよいのでしょうか。わかっているのかどうかもわからずに続けていってもよいものでしょうか。

〔答〕 自閉症の子供といっても原因や症状がさまざまです。何とも言えませんが、ここでは先生の言うことに耳を傾けようとしなかったり、自分勝手な世界を作ってそこから一步も出ようとしないうるというように理解すると、その原因は親にあります。この場合、そのまま自閉的傾向を直さないと将来大変なことになるということを親に訴え自覚してもらうことが大切です。自閉的傾向を示す子供は比較的知能が高く、精薄の子供はそのような傾向はありません。自閉的な子供には漢字などをよく覚えたり、何かひとつのことに熱中してやるという傾向がありますが、それは幼児期だけでして、それ以後は知能もガタ落ちになります。幼児期には賢そうに見えるので、親はわれわれが思うほど深刻には考えていません。ですから、そのような親には強く訴えて自覚してもらうことが大切です。自閉的な子供は、ひとり遊びが好きで泣きもせず親にほとんど世話をかけずに育ててきた場合が多く、親も手がかからなくていい子だと思って、その自閉的傾向を育てていることが多いのです。子供というものは親が育てなければ駄目な存在でして、他の動物よりも特に人間は未完成な状態で生まれてくるのです。これは大脳生理学の分野で明らかにされています。下等動物や哺乳類以外の動物は親が子供をほったらかしにしておいても育てていくようにできているのです。哺乳類にしても人間以外のものは子供のひとり立ちが早い

のです。人間の場合は成人するのに20年もかかるくらいですから、親が何年も手をかけなければならないのです。特に、脳の出来上がる生後3年間というのは、親は子供から離れてはならないのです。私は現在、松下政経塾で教えていますが、塾生に対してよく説くことは、諸君がこの日本を背負って立つところには、父親の給料で十分家計を維持できるような社会にしななければならないし、もし母親が働かなければならないなら、子供の少なくとも生後3年間は、家庭にいて育児をしながら給料がもらえるようにしなければいけません、と。そうしないと立派な人間にはなれません。人間は人の間と書きますが、この意味は、人と人との間にあって人となり、人間性を備えるからこそ人間であって、人間と人とは違うのです。ヒトというのは人間の顔や体をもったものに過ぎない生物としての人であって、どんな心をもっていようと関係ないものなのです。しかし、人間というものは人の心がわからなければならないなりません。生後2、3年間は母親がしっかりと寄り添い、お話をしたりあやしたりして、子供の言葉の発達があるわけです。自閉症の子供というのはこの世の中にわれひとりという状態なのです。しかし、好きで自閉症になったわけではなく、そのように親に育てられてしまったわけなので、親にこんこんと説教し、反省してもらい、毎日子供と話し合う機会をたくさん作って、その自閉的傾向を解消してゆかなければなりません。とても時間がかかって大変ですが、母親以外に直す人はいません。親こそ最良の教師であり医師でありますので、幼稚園の先生ひとりですることではありません。